

# 地域社会学会会報

No.228 2022.7.1

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies  
〒480-1198 長久手市茨ヶ廻間 1522-3 愛知県立大学教育福祉学部  
松宮朝研究室

TEL 0561-76-8706(直) FAX 0561-64-1107 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728  
E-mail [jarcs.office@gmail.com](mailto:jarcs.office@gmail.com) URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

## 〈 会報 228 号のトピック 〉

- 1) 第 47 回大会の批評論文は「地域社会学会ジャーナル」No.6 (WEB 版) に掲載されます。
- 2) 『地域社会学会年報』第 35 集の自由投稿論文等を募集します。詳細は 4 ページをご覧ください。
- 3) 2022 年度地域社会学会賞の推薦が始まります。詳細は 5 ページをご覧ください。
- 4) 2022 年度会費納入をお願いします。詳細は 7 ページをご覧ください。
- 5) 会員の研究成果について、用紙 (地域社会学会 WEB サイトから MS ワード版がダウンロードできます) の情報を、事務局宛のメール (あるいはファックス) でお送りください。

## 目 次

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 地域社会学会賞選考委員会からの報告
5. 事務局からの報告
6. 地域社会学会第 47 回大会会計報告
7. 地域社会学会 2021 年度決算報告ならびに 2022 年度予算
8. 事務局からのお知らせとお願い
9. 会員異動
10. 会員の研究成果情報
11. 理事会のご案内

### 2022 年度 第 1 回研究例会のご案内

日時 2022 年 7 月 9 日 (土) 13:00~16:00

会場 ZOOM によるオンライン開催

※アクセス方法等は、開催 2 日前をめぐりに、会員メーリングリストで配信します。

第 1 報告 丸山 真央 (滋賀県立大学)

新型コロナ禍の中で地域社会学は何を問うたのか—その成果と残された課題

第 2 報告 二文字屋 脩 (愛知淑徳大学、非会員)

ホーム・イデオロギーを問い直す：ホームレスと狩猟採集民の知見から

## 7月9日（土）開催の第1回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

### <事前の準備のお願い>

- ◆事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

### <当日のお願い>

- ◆待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

### <配布資料について>

- ◆報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

### <質問・発言について>

- ◆質疑応答の際には、チャットで発言希望の旨をお伝えください。司会者の許可なく発言することはご遠慮ください。

### <当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

### 当日サポートセンターの連絡先

- ◇電話 0561-76-8706
- ◇メールアドレス azmatsujp[アット]yahoo.co.jp [アット]を@にしてください。
- ◇当日配布資料の再配布はありません。

### <終了後の懇談について>

- ◆研究例会は 16 時終了の予定ですが、終了後 30 分間程度、Zoom のミーティングルームを開放しておく予定です。意見交換や情報交換、懇談などにご活用ください。例会とあわせてご参加をお待ちしています。

### <問い合わせ先>

- ◆当日の Zoom 操作に関する以外、研究委員長（清水洋行、hishimizu [アット] chiba-u.jp）までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

## 1. 理事会からの報告

### (1)2022 年度第 1 回理事会報告

2022 年度地域社会学会第 1 回理事会は、2022 年 5 月 14 日（土）の 18 時 50 分から 19 時まで、オンラインで開催されました。ここでは、審議事項として 4 件が議論されました。

出席（9 名）：浅野慎一、清水洋行、高木竜輔、玉野和志、中澤秀雄、町村敬志、松宮朝、丸山真央、吉野英岐

欠席（1 名）：山下祐介

1. 庶務担当理事の互選について
2. 会長の互選について
3. 理事の各種委員会委員・担当の選任について
4. 選任理事候補者（10 名）について

報告事項のうち、研究委員会、編集委員会、事務局からの報告の詳細は各委員会報告・事務局報告をご覧ください。

### (2)理事選挙の結果

理事選挙は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで投票が行われました。結果は以下の通りでした。その後、5 月 14 日に第 1 回理事会がオンラインで開かれ、さらに、5 月 14 日のオンラインでの総会を経て会長以下、次の通り役割分担が決まりました。なお、会長と庶務担当については、会則 16 条の規定にしたがって、臨時総会で承認されました。

また、話し合いによる理事は、2022 年 6 月 6 日に実施されたメールでの臨時理事会にて承認されました。

#### <理事選挙の結果>

##### 投票による理事（10 名）

浅野慎一（摂南大学）、清水洋行（千葉大学）、高木竜輔（尚絅学院大学）、玉野和志（東京都立大学）、中澤秀雄（中央大学）、松宮朝（愛知県立大学）、町村敬志（東京経済大学）、丸山真央（滋賀県立大学）、山下祐介（東京都立大学）、吉野英岐（岩手県立大学）

##### 話し合いによる理事（10 名）

伊藤亜都子（神戸学院大学）、小山弘美（関東学院大学）、齊藤綾美（東北文化学園大学）、佐藤洋子（高知大学）、田中里美（都留文科大学）、船戸修一（静岡文化芸術大学）、前島訓子（愛知淑徳大学）、松木孝文（大同大学）、望月美希（静岡大学）

#### <新理事の役割分担>

会長	町村敬志
庶務担当（事務局統括）	松宮 朝
財務担当（事務局）	松木孝文
WEB 担当（事務局）	木田勇輔
研究委員長	清水洋行
研究委員	小山弘美、高木竜輔、田中里美、前島訓子、山下祐介
編集委員長	船戸修一
編集委員	浅野慎一、伊藤亜都子、齊藤綾美、佐藤洋子、丸山真央、望月美希、吉野英岐
国際交流委員長	中澤秀雄
学会賞担当	玉野和志
社会学系コンソーシアム担当	玉野和志
学会賞委員長	浦野正樹（非理事）

### (3)総会、臨時総会報告

2022 年 5 月 14 日（土）16 時 15 分～17 時 30 分まで、Zoom によるオンライン会議にて、地域社会学会総会が開催されました。また、5 月 15 日（日）12 時 45 分～13 時 00 分まで臨時総会

が開催されました。

総会では、市川虎彦会員が座長として選出され、会長挨拶、研究委員会報告、編集委員会報告、国際交流委員会報告、地域社会学会賞選考委員会報告、事務局報告が行われました。続いて、2021年度会計決算についての説明が事務局からあり、監事による監査報告が行われました。2022年度予算案についても同様に説明が行われ、決算、予算案ともに原案通り承認されました。

また、オンラインによる理事選挙結果が改めて確認され、新理事によって話し合いが行われた結果、会長候補者として町村敬志会員、庶務担当理事候補者として松宮朝会員が選ばれたことが報告されました。

これを受けて、臨時総会では、原案通り、両候補者の承認が行われました（会則第16条3の規定による総会承認）。

## 地域社会学会の会則改正

★地域社会学会の会則16条1項を以下のように改正

<現行>

第16条 役員選出は次の規定によるものとする。

1.理事は、総会における会員の投票によって選出されるものとし、得票数の多い順に上位10名とする。最下位に同数者がある場合は抽選による。

<改正> 下線部分

第16条 役員選出は次の規定によるものとする。

1.理事は、総会における会員の投票によって選出されるものとし、得票数の多い順に上位10名とする。最下位に同数者がある場合は抽選による。ただし、会員の投票によって選出された場合でも、通算の理事回数が10回を超える場合は、理事を辞退することができる。

最後に、第48回大会について、小内透会長より駒沢大学にて開催されることが報告されました。

(松宮 朝)

## 2. 研究委員会からの報告

今期、研究委員長を務めることとなりました清水洋行です。研究委員会はコロナ禍のもとで、前期の研究委員長をはじめとする研究委員のみなさまのご苦勞によりさまざまなノウハウが培われ、再び軌道に乗って参りました。まだまだ困難が伴いますが、多くの会員が参加できるよう努めて参りたいと思います。今期の研究委員会は、いずれも理事である小山弘美会員、高木竜輔会員、田中里美会員、前島訓子会員、山下祐介会員（五十音順）とともにスタートいたしました。今後、理事以外の方にも研究委員会にお声掛けさせていただきます。

7月9日（土）の第1回研究委員会はオンライン開催です。例年通り2本の報告を予定しております。第1報告は、5月に開催されました第47回大会のシンポジウムの総括を行ないます。報告者は丸山真央会員です。第2報告は、愛知淑徳大学の二文字屋脩（にもんじや しゅう）氏（非会員）にお願いいたしました。二文字屋氏の専門は文化人類学で、タイの狩猟採集民の調査研究とともに、東京のホームレスにかんするフィールドワークをされており、編著書の『トーキョーサバイバー』（うつつ堂）が2022年3月に刊行されています。今回は、ホームレスにかんする研究を中心に報告していただきます。ホームレスは、地域社会学においてもさまざまにアプローチされていますが、社会学と異なる切り口からの報告をふまえて、今回の大会シンポジウムにおいて「地域移動」という点からアプローチされた「モビリティ」にかんして「流動性」に着目して考える機会としたいと思います。

(清水 洋行)

## 3. 編集委員会からの報告

年報第34集は会費納入済会員には6月初旬に東信堂から直送される予定で、もうお手元に届いている頃かと思えます。会員の皆様のご協力に対し、改めまして御礼を申し上げます。まだお受け取りでない会員の皆様につきましては、会費納入が確認された方から順次郵送される予定

です。

さて早速ですが、年報第 35 集 (2023 年 5 月発行予定) の原稿を募集します。下記の要領にしたがって募集いたしますので、奮ってご投稿下さい。自由投稿論文については他のカテゴリーの原稿に比べて締め切りが早くなっております。〈ビューポイント〉〈名著再発見〉〈研究紹介〉のコーナーについても、投稿をお待ちしております。なお、35 集から投稿規定が変更になり、電子ファイルでのみの提出になります (郵送での提出は不要です)。投稿規定、執筆要領、著作権規定を十分にご確認の上ご提出下さい。

#### ＜年報第 35 集原稿募集要領＞

1. 自由投稿論文: タイトル・執筆者氏名・本文・図表・注・引用文献を含めて、年報掲載時に 14 ページ以内(1 ページは 41 字×38 行で 1,558 字)に収まるものとします。編集上必要なデッドスペースを差し引いて、上限字数は 21,402 字(41 字×522 行)である。図表等については編集上十分なスペースを確保してください。なお英文要旨は掲載決定後に、300 語以内で作成します。自由投稿論文の締め切りは、2022 年 9 月 30 日(金)とします。

2. 書評 (依頼) / 自著・自訳書・編著書紹介 (依頼) / 研究紹介: タイトル・執筆者氏名・本文を含めて、年報掲載時に 2 ページ以内となる 2,870 字(41 字×70 行)に収まるものとします。

3. ビューポイント/名著再発見: タイトル・執筆者氏名・本文を含めて、年報掲載時に 4 ページ以内となる 5,986 字(41 字×146 行)に収まるものとします。2 及び 3 の原稿の締め切りは、2022 年 10 月末日とします。

4. 原稿は、Eメールの添付ファイルにて電子ファイルでご提出下さい。原稿提出時には、別紙に氏名・住所・電話番号・電子メールアドレスを明記して下さい。

5. 「執筆要領」で明文規定している以外のルールは『社会学評論スタイルガイド』に準拠することになります。この点、くれぐれもご注意ください。

6. また、自由投稿論文については 300 語程度の英文要旨を掲載することになります。英文要旨は、編集委員会で論文審査が終了した後に提出して頂きます。英文校閲は編集委員会でおこなう予定です。

7. 原稿の提出先 送付先: 〒430-8533 静岡県浜松市中区中央 2-1-1 静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科 船戸修一 気付 Email: s-funa[at]suac.ac.jp ←[at]を@に変えて下さい。

(室井 研二 船戸 修一)

#### 4. 学会賞選考委員会からの報告

2022 年度の学会賞の選考が始まります。

(1) 地域社会学会賞には、以下の 5 種類の賞があります。

1. 学会賞

①個人著作部門、②共同研究部門

2. 奨励賞 [大学院修士課程修了 15 年以内の者を対象]

③個人著作部門、④共同研究部門、⑤論文部門

(2) 対象業績は、2021 年 6 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日までに刊行された業績です。

(3) 推薦期間は、2022 年 8 月 1 日 (月) から 9 月 30 日 (金) の間です。

(4) 推薦委員による推薦のほか、会員の自薦・他薦もあります。選考委員長の浦野正樹宛てに 2022 年 9 月 30 日 (金) 必着でお願いします。自薦の場合は、刊行物 1 点も送付してください。

(5) 送付先

E-mail : muranolt[アット]waseda.jp (「開封確認要求」付きで) [アット]を@にしてください。

郵送 : 〒353-0007 埼玉県志木市柏町 2-26-5 浦野 正樹 宛 (自宅)

(6) 推薦にあたっては、学会賞規定に沿った基準で選んでいただき、以下を記してください。

①学会賞、奨励賞の区別、②対象研究成果の題目、発行年月日、発行所あるいは掲載雑誌名・巻号、③著者・编者・編著者の氏名、所属、職位・学年次、奨励賞の場合は修士課程修了の有無と修了年月 (詳細不明の場合は事務局で調査します)、④推薦者氏名、⑤推薦理由 (300 字以内)。

Mail の場合は、word ファイルでお願いします。

(7) 2022 年度の選考委員 (8 名) は、浦野正樹 (重任)、小内純子 (重任)、玉野和志 (重任)、

中西典子（重任）、新原道信（重任）、藤井和佐（重任）、横田尚俊（新任）、吉野英岐（新任）。委員長は浦野が務めております。推薦委員（16名）は、任期中（2年間）は非公開で、任期の終了後に「会報」で公開しています。

（浦野 正樹）

## 5. 事務局からの報告

### (1) 会費納入状況

2022年7月8日時点の会員は382名（一般345名、院生23名、終身14名）で、2021年度の会費納入率は92.7%（今年度の会費納入対象者368人中341人が納入済み）でした。

今年度までの4年以上滞納者は6名おり、会員資格喪失について審議事項になります。そのほか、3年滞納者は現時点では6名です。なお2年未納者は19名です。

### (2) 会報227号・ジャーナルNo.5の発行

庶務担当理事から学会HP上で会報227号とジャーナルNo.5が発行されました。

### (3) 事務局業務の外部委託化について

事務局より業務の作業の軽減化を図るため、会費徴収・名簿作成の外部委託の導入にむけて本格的に作業を開始するための外部委託化について、前回総会にて承認されました。今後の理事会で検討を進めて参ります。

（松宮 朝）

## 6. 地域社会学会第47回大会会計報告

略

## 7. 地域社会学会2021年度決算報告ならびに2022年度予算

略

## 8. 事務局からのお願いとお知らせ

### (1) 2022年度会費納入のお願い

2022年度の会費納入について、未納入の場合は納入をよろしくお願ひします。郵送された払込用紙のない方は、郵便局の窓口備え付けの青い払込用紙に、口座番号（00150-2-790728）、加入者名（地域社会学会）、会員ご本人の氏名・ご住所と、通信欄に「2022年度会費」を明記の上、会費（一般会員6,500円、院生会員5,000円）のご送金をお願いします。2022年度分の会費の振込確認ができた会員には、『地域社会学会年報』第34集をお送りします。

### (2) 会員の研究成果情報の提供のお願い

2021年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙（地域社会学会WEBサイトからダウンロードできます）の情報を、事務局宛のメール（あるいはファックス）でお送りください。ご協力よろしくお願ひします。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いいたします。

（松宮 朝）

## 9. 会員異動

略

## 10. 会員の研究成果情報(2021年～2022年)

情報提供なし

## 11. 理事会のご案内

第2回理事会

日時 7月9日(土) 10:00～12:00      オンライン